

武蔵野市多文化共生推進懇談会 傍聴者アンケート

第4回実施分（令和4年11月15日開催）自由記載欄

【傍聴者 6名】

※傍聴者6名記載

【市内在住、性別回答なし、70歳代】

- ・市民の意識調査に、「平和・多文化共生について」の項目も入れられたことは、良かったと思います。
- ・これをもとに、「外国人に日本語学習の機会や日本の習慣や諸システムの多言語での情報提供」を、市民も望んでいることが読み取れる、という指摘は大切だと思います。

【市内在住、男性、60歳代】

- ・MIAの認知度は「低い」のでしょうか？私が思うに今、この時点で行政が「多文化共生社会」の形成に本格的に取り組もうとしている事実を踏まえれば、MIAの様々な取組みや経験が行政各部局にどれほど伝わっているか？真剣に受け止められてきたか…という点に真の原因があるように思われます。「防災」ひとつとっても、MIAは役割を果たしているように思いますが…。
- ・様々な国から武蔵野市に来て住まわれる人々と日本国籍の住民の両方が「多文化共生」の理念を共有することが肝要なのではないでしょうか？その前提となるのが、武蔵野市の現状、すなわち「地域共生社会」の現状と問題点を把握することだと思いますが、その点どうも議論がなされていないのでは？コミュニティ理念を基礎にして構築されてきた武蔵野市の「まちづくり」の現場の視点が関係者グループディスカッションに不足しているように感じました。
- ・多文化共生主義に基づく移民政策を行っているUKでも同化政策のフランスと同様、デモクラシーの理念とルールを理解してもらうことに力点をしています。外国人市民の理解を促進することをめざす日本のルールや慣習の中に「民主主義の理念とルール」は含まれているのですか？

【市内在学、女性、20歳代】

- ・“外国人向けのパンフレットがあっても、内容について説明してもらえない。”というのは、とても難しい問題だと思いました。どこで受け取ったか、何のためにもらったのかにもよって異なりますが、日本人でもその場では内容を説明してもらえないことはよくあります。“ここを説明してほしい”という箇所がある時に説明してもらえるのであれば十分であるように思えるので、外国人の方が誤解をされないよう、「何か気になることがあれば聞いてください」というような文言が添えられればよいと思いました。
- ・“地域の生活習慣、ルール、文化等を理解してほしい”と回答されている方が、現在住んでいる方との関わりを経てのものなのか、外国人の方には難しいというイメージからくるものなのかが気になりました。新大久保ではお店を運営されている方のごみ出しの仕方が悪いと受け取れるニュースが放送されていたので、先入観からくるマイナスイメージであれば、解消してほしいと思いました。

【市内在住、女性、60歳代】

- ・外国人市民とのことばを使うことは理解するが、国籍によらず平等な社会をめざす上で、少し違和感がある。
- ・偏見や差別を解消していくためにも、ヘイトスピーチ解消のための実効性のある条例が求められる。このプランにも差別解消が記載されることは評価するが、条例をつくることによって、市長をはじめ政治家や職員が変わっていても根拠となるものができることをめざしてほしい。
- ・パブリックコメントについては、率直で具体的な意見が多く評価できる。
- ・多文化共生は大切なテーマだが、現時点で多くの人が重要とっていないようだ。外国籍市民の中でより過こくな仮放免の人たちの現状など伝える必要を感じる。

【市内在住、男性、50歳代】

- ・資料2・3の読み上げだけで1時間もかけるのは会議の進め方としてもったいないと思いました。我々傍聴者にとっては理解しやすく良かったですが、委員の皆さんは事前に資料配布されているだろうし、もっとこの場で意見交換やディスカッションにたっぷり時間をかけて欲しかったです。
- ・関係者グループディスカッションは一般傍聴できたのでしょうか？。もしそうであれば参加したかったです。
- ・市民意識調査の回収率が随分下がっているのは何故か？（2020年→2022年で、51.6%→36.7%）。一般論として、この程度なのだろうか？。
- ・新居さんが本質を突いたコメント多く良かったです。プランの位置づけ（中間まとめ3p）のように大まかな指針を示すものだとしたら、具体化に対する意気込みは盛り込んで頂きたいです。
- ・その考え方として、本プランと具体的施策との整合性は極めて大事だと思います。

【市内在住、男性、60歳代】

- ・グループディスカッション、パブリックコメントの1つ1つについて、詳細に説明されていて、そのきめ細やかさに良い意味で驚きました。
- ・様々な意見、率直な提言をいかに行政側が重要性、特に将来の武蔵野市の暮らしやすさにつながるものを活かしていけるかの大切なデータの一部になっていると感じました。揺らぐことなく、多文化共生推進を貫くことを期待します。
- ・寄せられている意見、提案は、いずれも大方、好意的で真剣な内容と受け取りました。

（※文字及び文章はアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。）